



雲青き

さいたま市立大成中学校 学校だより

4月号 令和7年4月8日

はじまりの季節

校長 福田博志

大成中生の皆さん、こんにちは。校長の福田博志です。令和7年度もこの素晴らしい大成中学校で素敵な成中生の皆さんと一緒に過ごせることになりました。たいへんうれしく思っております。本校が築いてきた78年の伝統を大切に継承しつつ、さらに充実した教育活動を推進していくために教職員一丸となって取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本日は希望を胸に143名の新入生が入学し、令和7年度がスタートしました。皆さん一人ひとりが個性あふれる「花」を咲かせることができるよう充実した学校生活を送ってほしいと願っています。

校内の樹木も4月を待ちわびていたかのように急に芽吹きはじめました。成中生の皆さんも新しい春を迎え、新しい学年、新しい学級となり、希望に満ちあふれていることと思います。

年度初めに私から成中生の皆さんへ、二つのことを伝えます。一つ目。「人に対してやさしい人」になってもらいたいということです。行動する際や言葉を発する際に自分の心を通して相手の心を思いやることをいつも心がけられる人であってほしいと願っています。本当に強い人とは、人に対してやさしくなれる人だと私は信じています。二つ目。自分の得意なこと、好きなことを見つけ、大切に磨いてください。人は得意なことがあれば、それが自信となり、人生を豊かにすることができます。不得意なこと苦手なことを克服する努力も大切ですが、まずは得意なことを一つピカピカに磨き上げてください。得意なことを生かして自分らしく輝いて生きてほしいと願っています。

成中生の皆さんは無限の可能性を秘めています。中学時代は青春の真ただ中で様々な力を伸ばすことができる素晴らしい時期でもあります。ぜひ、「快活に」どんどん挑戦してみてください。失敗しても構いません。今日は失敗しても明日は成功するかもしれないのですから。私も残り少ない「青春時代」を前向きに過ごしたいと思っています。今年度も自分の「よさ」を生かして活躍する成中生の皆さんを校長室から応援しています。

